

2024年9月1日

「神に栄光を帰すために」

ルカによる福音書 17:11-19

早川 真牧師

今朝の箇所、10人の重い皮膚病の人たちは、イエスの言葉に速やかに従いました。そしてその途中で癒されたことを知ったそのうちの一人は、自分がいやされたのを知って大声で神を賛美しながら戻って来た、とあります。礼拝では必ず賛美がありますが、これは神様をほめたたえることです。社会では人がほめたたえられますが、教会においてはただ神様だけをほめたたえます。教会は絶えず、神様に向かって「あなたは素晴らしいお方である」とほめたたえながら歩む共同体です。

清くされた十人のうち、神を賛美するために戻って来たのは一人だけでした。これは私たちの現実と言えるかもしれません。癒された十人のうち一人しか帰って来なかったということは、私たちの現実置き換えるなら、十叶えられた願いのうち、神様に感謝と賛美をささげたことは一度しかなかったと言えるのではないかと思います。

イエスは言われました。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」これは、神に栄光を帰すためにそれぞれの場所に遣わされていく私たちの姿です。日曜日ごとに主の前に跪き、感謝と賛美をささげ、再びそれぞれの場所に遣わされていきます。私たちの人生の旅路は、イエスの言葉に従い向かうその途中で癒され救われていく、そのような旅路です。私たちの思いをはるかに超えた神の言葉に聞き従って、置かれたそれぞれの場所において神に栄光を帰す歩みへと導かれてまいりたいと思います。